愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	深谷 和広	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習Ⅱでは、幅広い知識の習得により専門知識を育み、自己を理解して、他者と協働して問題解決をすることができる能力を獲得することを目標とする。前期に学習した社会問題の基礎知識を応用し、SDGsに関するビジネスモデルの事例研究を通じて社会問題の解決策を探ります。ゼミ活動としては、大学祭、調査研究など時間外の活動にも積極的に参加します。年度末のゼミ報告会に積極的に参加します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式で授業を行う。各授業では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、主体的な学びのスタイルを身に着ける。学生同士のコミュニケーションを通じて学習効果を高める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに演習の目的と内容、進め方を説明する	□
第2回	ビジネスモデルの基礎知識（１）	ビジネスモデルに関する基礎知識を学ぶ。	□
第3回	ビジネスモデルの基礎知識（２）	ビジネスモデルに関する基礎知識を学ぶ。	□
第4回	ビジネスモデルの基礎知識（３）	ビジネスモデルに関する基礎知識を学ぶ。	□
第5回	SDGsとビジネスモデル（１）	SGDｓに関する文献、資料、データを収集し、特徴をまとめる。	□
第6回	SDGsとビジネスモデル（２）	SGDｓに関する文献、資料、データを収集し、特徴をまとめる。	□
第7回	SDGsとビジネスモデル（３）	SGDｓに関する文献、資料、データを収集し、特徴をまとめる。	□
第8回	プレゼンテーション中間報告会（１）	各自の成果をまとめ、中間報告を行う。	□
第9回	プレゼンテーション中間報告会（２）	各自の成果をまとめ、中間報告を行う。	□
第10回	SDGsとビジネスモデルの事例研究（１）	ビジネスモデルの特徴をまとめ、研究成果を発表する準備を行う。	□
第11回	SDGsとビジネスモデルの事例研究（２）	ビジネスモデルの特徴をまとめ、研究成果を発表する準備を行う。	□
第12回	SDGsとビジネスモデルの事例研究（３）	ビジネスモデルの特徴をまとめ、研究成果を発表する準備を行う。	□
第13回	プレゼンテーション研究発表（１）	研究成果を報告し、全員で内容を検討する。	□
第14回	プレゼンテーション研究発表（２）	ゼミ交流会で研究発表をする。	□
第15回	全体総括	本演習の内容を総括する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前には課題図書やゼミ活動で必要となる新聞、雑誌、テレビ、ネットなどの情報を主体的に読破すること（2時間程度）また授業後には、授業内容をまとめてゼミ課題に積極的に取り組むこと（2時間程度）。日ごろから主体的にビジネス関連情報を収集するように心がけることが大切です。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業で取り組んだ内容また課題について、次回の授業内でプレゼンテーションすること、またディスカッションすることを通じて相互にフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	社会、文化に関係する幅広い知識及び技能を習得し、専門知識の学習に活用できる。

思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	社会と企業との関連を思考し、多面的に判断し、自分の考えを表現、発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々の存在を認識し、自己を理解した上で、主体的に他者と協力して問題を解決できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

平常の授業に取り組む姿勢（６０％）と課題の提出状況（４０％）を基本に成績評価を行う。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	＜なし＞	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	＜なし＞	
2		
3		
4		
5		